

弓道同好会 全国大会へ

本校の弓道同好会が、先日福島県で行われた東北高等学校弓道選抜大会において見事準優勝という成績を修め、3月21日から静岡県で行われる全国大会へ出場することが決まりました。

弓道同好会は現在3年生が引退し、1・2年生の会員20名の同好会です。発足して間もない同好会で、校内には練習場がないため、仙北市の弓道場で日々練習を重ねています。

弓道同好会は4月から弓道部に昇格することが昨年10月の生徒会で決まっており、今後のますますの活躍が期待されます。

今回は、同好会主将の田近美穂さんから、全国大会への意気込みを寄せてもらいました。



全県新人大会での優勝から東北大会までの2ヶ月間は、あっという間だったと思います。その間の練習では、あまり的中数が上がらないまま大会を迎えてしまいました。しかし、東北大会では練習以上の結果を出すことができ、見事全国への切符を手に入れることができました。しかも、矢を射る技術だけでなく、入場から退場までの射場内での立ち居振る舞いも高く評価され、「射道優秀賞」もとることができました。全国大会は3月に静岡県で行われます。これからの練習は今まで以上に集中していき、みんなが一丸になって頑張りたいと思います。

角館高校弓道同好会は、まだまだ成長していきます。地域の皆さん、今後も応援よろしくお願ひします。

(2年 田近美穂)

なお、現在スキー部がインターハイ・国体等で上位入賞を果たすなど、素晴らしい活躍を見せてくれました。他の部活動も来年度の活躍が期待されます。

われら角高

テージセー



テージセーは韓国明文高校の皆さんを迎えての雪遊びについてレポートします。今年は全日制的の皆さんとの協力でグラウンドには両国の国旗をデザインしたり、かまくらやソリ山、ミニかまくらや雪像などを作りました。私たちが考えた企画は「感動を与えるソリ滑り用の山!」と「感動を呼ぶ本格派餅つき!」でした。テージセーの授業が始まる前にみんなで集まり、連日の作業を経て完成したソリ山は大きな赤鬼のデザインで「なまはげ」をイメージしました。そして餅つきは、木製(樫の木)の杵と臼を使った昔ながらの本格的な作業を体験できるものとしました。つき上がった餅には特製のあんこをつけて振る舞いました。会場の皆さんの明るい笑顔を見ていると私たち自身も大きな感動を覚えました。韓国の皆さんに日本文化の良さを少しでも感じてもらえたのなら、私たちの企画は大成功だったと思います。皆さん、またきてくださいね~!

「ソリ遊びと餅つき体験でおもてなし」

角館高校定時制課程 生徒会長 男鹿彰一

冬休みが明けてすぐに、韓国の明文高校の皆さんが訪問されるということで、私たち定時制も歓迎行事に参加することになりました。あまり雪の降らない韓国の人たちに良い思い出を作ってもらえたらいいなという気持ちを込めて「ソリ遊び用滑り台」を作ることにしました。放課後のない私たちは、最初の0時限目と1時限目を使って作業をしました。制作日数は約1週間。暗くなったグラウンドでの作業は大変で、雪が多く降る日もあれば雨が降る日もあり、作業は厳しいものでした。土台固めをし、しっかりとした基礎の上に雪を積み上げるのですが、これがまた大変でした。今年は比較的、雪の量が少なく、遠くにある雪をスノーダンプで運び、その雪を上へ積み上げるのに一苦労しました。作業期間中はとても気温が低かったために雪質が粉雪状態で、積み上げてもなかなか大きくなりません。そのくせ次の日には雨が降って形が崩れていたり大変でした。土台ができてきて、(地上約3メートルほど)だんだん滑り台の形になってくると、生徒に混じって先生たちまで一緒になってソリ遊びを楽しみました。当日はソリ遊びと同時に、テントを建てた横で杵と臼による餅つき体験も企画しました。餅米をふかすところから全て自分たちの手で作った餅を、韓国の皆さんがおいしそうに食べている顔を見ると、私たちの顔も自然と笑顔になりました。来年もまた明文高校の皆さんが訪問されるのならば、また新しいアイデアで楽しんでもらえるように、私たち定時制は頑張るつもりです。